

【中学生部門】最優秀賞

私の家族へ

高崎市立大類中学校 3年 大沢 雅楽

タイムマシンがあつたらいいですね。「君たちの生活をのぞいてみたい。」ということが今一番の私の願望です。でも、まだこの時代にはタイムマシンは存在していないので、「タイムカプセル」という形にして君たちの時代に手紙を送ります。

まず、私へ。将来の夢は見つかりましたか。十五歳の私は見つからずに困っています。多分、見つかったとしても「回っていないお寿司が食べたい」とか「富士山に登ってみたい」という小さな夢だと思います。でも、これを超巨大な夢に変えていってください。そして、その夢を生きているうちに叶えてください。あ、これは私の第二のお願いでした。ここからは、第一のお願いをさせてください。何があっても楽しく幸せに生きてください。私は、不安や悲しみを自分だけで溜め込むくせがありますね。周りにはいつでも家族がいます。たまには、周りに頼ってみてはどうですか。

次は、一家の大黒柱の夫へ。あなたの妻の代弁をします。「ズーっと愛しています。」あなたの妻は、恥ずかしがり屋さんなのでこういうことは言わないと思います。そこで、あなたの妻の弱点を教えます。それは、顔にとっても出やすいということです。嬉しい時はニコニコした顔、怒った時や不安な時は無表情になります。悲しい時は顔が少し歪んでいます。ほら、今の顔の表情はどうなっていますか。大人になって顔の表情も豊かになったかなと思います。毎日、いろいろな顔が見られておもしろそうですね。でも、表情の変化にも気付いてあげてください。そんな私からお願ひがあります。何があっても、妻から離れないでください。いつまでも仲良しな家族でいてください。

最後に、私たちの子供へ。お母さんは厳しいですか。怒られた時はしようがないと思って反省しておいてください。成長したら、怒られた意味を知るから、それまでは「うるさいな」とでも思ってください。でも、お母さんとお父さんは、あなたを世界一愛しています。生まれてきてくれてありがとう。

【講評】明るい家族像をイメージしつつ、まだ具体的な夢が描けないという15歳の心情がよく表れています。自分の弱点を率直に書いているところにも好感が持てます。今の素直な気持ちのまま成長して、笑顔あふれる家庭をつくってください。

(高桑委員)